

**平成２７年度対ベリーズ草の根・人間の安全保障無償資金協力
「ベリーズ公立農業高校校舎拡張計画」贈与契約署名式**

２０１６年３月１１日、篠崎書記官は、オレンジ・ウォーク県のベリーズ公立農業高校で行われた、平成２７年度対ベリーズ草の根・人間の安全保障無償資金協力「ベリーズ公立農業高校校舎拡張計画」の贈与契約署名式に出席し立会人とし署名しました。この贈与契約へは、３月１４日、中野大使が日本政府を代表して署名しました。

１９８４年創立の同校は生徒数増加による教室不足に悩まされています。そのため昨年は７０名の入学希望者の受け入れができませんでした。このプロジェクトでは、２教室と図書館を含む新校舎を建設し、生徒達に適切な教育環境を提供することを目指します。また、災害時にはシェルターとして利用される予定であり、７５名が収容可能です。

当日の署名式へは、ファーバー教育・青年・スポーツ・文化大臣、サダランガニ日本名誉総領事、井上堅介・日本人協会会長、教育省職員、同校関係者や地域住民など約７０名が出席しました。ファーバー教育・青年・スポーツ・文化大臣をはじめとする来賓、学校関係者たちは、日本の支援への感謝とオレンジ・ウォーク地域で教育環境が整うことについての喜びを述べました。また教育やコミュニティ開発等の分野に、JICAからボランティアを派遣していることについても感謝が述べられました。篠崎書記官は教育の重要性を強調しつつ、このプロジェクトを通じて、ベリーズの重要な産業である農業を担う優秀な人材が輩出されることを希望しました。



立会人署名する篠崎書記官とデルガド校長



感謝の意を述べるファーバー大臣



生徒による演劇披露



生徒による踊り披露